

あたらしくはいった本

【一般書】

東京湾臨海署安積班『天狼』	今野敏／著	角川春樹事務所
味ごよみ、花だより 3『幸せの種』	高田在子／著	KADOKAWA
警視庁捜査一課十一係『罪の硬度』	麻見和史／著	講談社
悩み・不安・困った！を専門医がスッキリ解決 『耳鳴り・めまい』	富田雅彦／著	新星出版社

【児童書・絵本】

ドラえもん学習シリーズ 『日本各地の自然とくらし』	藤子・F・不二雄／キャラクター原作	小学館
はるのおばけすかん 『ようかいクラスがえ』	斉藤洋／作	講談社
青春サブリ。 『新しい一歩を踏み出す』	青木美帆／文	ポプラ社

【児童書・読み物】

『まてないの』	ヨシタケシンスケ／作	ブロンズ新社
---------	------------	--------

おすすめ本

天久鷹央の事件カルテ『鏡面のエリクサー』 知念実希人／著

実業之日本社

鷹央の天敵にして、天医会総合病院の院長、天久大鷲。彼が手術を執刀した都議会議員が「このままでは自分は殺される」と大鷲を告発。混乱する小鳥遊たちだったが、やがて事態は殺人事件へと発展し…。

『氏家京太郎、奔る』

中山七里／著

双葉社

ゴミ屋敷の一室から男の殴殺死体が発見された。殺人容疑で逮捕されたのは、民間の科学捜査鑑定人・氏家京太郎の高校時代からの親友だった。親友の力になるべく、氏家は再鑑定を請け負うが…。『小説推理』連載を書籍化。

『教師のログセ変換100』

川端裕介／著

明治図書出版

「あなたが心配だから」「約束したよね」…。つい口にしてしまう教師のログセは、子どもとの関係を悪くする。教師のログセを100個取り上げ、ログセの背景や影響、そして言い換えの例について紹介する。

『にっぽんのクマ』

山崎晃司／監修

カンゼン

近年、クマへの注目度が高まっています。クマについての正しい知識を身につけましょう。日本に生息するツキノワグマとヒグマのちがい、行動・能力、人間とのかかわりなどを解説します。

『正しく疑う』

池上彰／監修

Gakken

いまや誰もが発信者の時代。気を付けないと自分が加害者になることもあります。また、情報の受け取り方にもコツが必要です。情報との向き合い方、発し方を、マンガやイラストでわかりやすく紹介します。

おはなし会

よみきかせ・かみしばいなど

ちびっこかにっ子タイム

5月21日(水)

午前11時～

桜ヶ丘児童センター

かにっ子タイム

5月 毎週土曜日

3・10・17・24・31日

午前10時30分～

桜ヶ丘分館内 絵本コーナー

えほんクイズ

『にくのくい〜ん』

みんなが食べている あいだ

ずっと空いている席があるね

だれの席かな？

※答えは左下にあるよ